

シミュレーション（案）に対して出された意見

1 「学校規模」・「配置」の他に重視したい事項（評価項目）

- A委員：学校は公的施設の役割もあり、地域住民や自治会等への影響も考え、何事も基本の柱をきちんと決めてから肉付けしていくべきである。
- B委員：統合後、廃校になった学校施設の活用についての検討が必要、公共施設として利用したい。中学校は現状の2校存続が望ましく、小学校の検討だけで良い。防犯上、パトロール隊の再編成が必要になるため、該当地域の自治会間の協議が不可欠である。
- C委員：住宅環境も検討の余地あり。
- E委員：小中学校は緊急時の避難場所としての役割を担っているが、学校の数が減ってしまうことは防災上の観点からどうなのか。避難場所としての小学校の数が減ることに対する防災対策課の考えを聞きたい。
- F委員：通学の安全性
- G委員：千城台へ引っ越してきたいと思わせることのできるほどの魅力を持った内容を求める。

2 事務局に準備してほしい資料・データ等

- A委員：シミュレーション No.7 で、東小を南小と旭小に振り分け、「東+南・東+旭・北+西」の3小学校にするシミュレーションを参考までに示してほしい。
- G委員：モノレールの走る大通り程度の道路を横断して通学する学校例および安全への取組みを教えてほしい。

3 その他（自由記述）

- A委員：学校の配置をバランスよくしておくことを重視したい。東・西・南・北の各町に1校は必ず学校配置する事が望ましい。小学校の組み合わせを2小学校にするか、3小学校にするかは、まず中学校を1校にするのか2校残すのかを合わせて考えないと学級数のバランスが取れなくなると思う。北4丁目、御成台を北小区に移す場合、ねじれの問題を解消するという点では一番良いと思う。ただ、東小が近くにあるのにという考えがあるので、東小は旭小に移すのも一つの方法だろう。
- B委員：地域代表の立場から、教育の指導や方針等については専門家に一任するしかないが、地域の防災・防犯活動、特に子どもの安全をパトロールなどは複数の自治会との協議と連携が必要である。
- C委員：小学校は3校、中学校は現行の2校での検討が望ましい。児童生徒数の増減は、今後の住宅行政によって大きく変化することが推定される。
- D委員：小学校は3校、中学校は1校が、地域活動の拠点として必要であると思う。
- F委員：どの組み合わせになってもOKと思うが、単なる統合のみでは現状と変わらない。統合することによる魅力（例：小中一貫）等、どの程度のことか今回の適正配置によって可能なのか、もう少し検討していく必要がある。
- G委員：数合わせ的な適正配置には西小PTAとしては反対する。魅力ある適正配置の一案として「小中連携」を提案する。